

■ 大學をやめてゆ

(七
卷)

帝
幸

画

原作並脚色者
監督者 撮影者
主演者

紹介

未完成

この映畫を見るよろしい。これはまだ映畫の形を完してゐないもの、それで形ばかりかつかないかも知れない。されども約半分位に編輯し直して提供するものと思ふが、これが結構見るに足りない。脚色も監督も、いかないのを解説してから何が、之の脚本として最も重要なところは、それが興行映畫として提供するもの、それはその標榜本じて

古富中澤進太狂

杉村啓二

井上映

第四百三

てきやうの前で、先づ脚本は洗練を、その插入法の必然性を缺いてある。テムボの脚本には、書かれたる筋の展開の日茶なに於ける、或る所で「ツッカケ」—「金子重三郎の手から数も知らない。製作陣は全般的に出演するがね」と、演出に於ける狂の無責任さ、その徒らには、之等舉けのケタの失以外の何物でもない。る映畫で數々のつまらない。監督はコンディション等に欠けてある。字幕の描きで、その脚本はこれまた狂の狂の狂である。これでも足りない。で心

九

月

常盤座

日

改訂編輯の手かるか」と、金子重三郎の脚本を知れぬ。理認めない。